

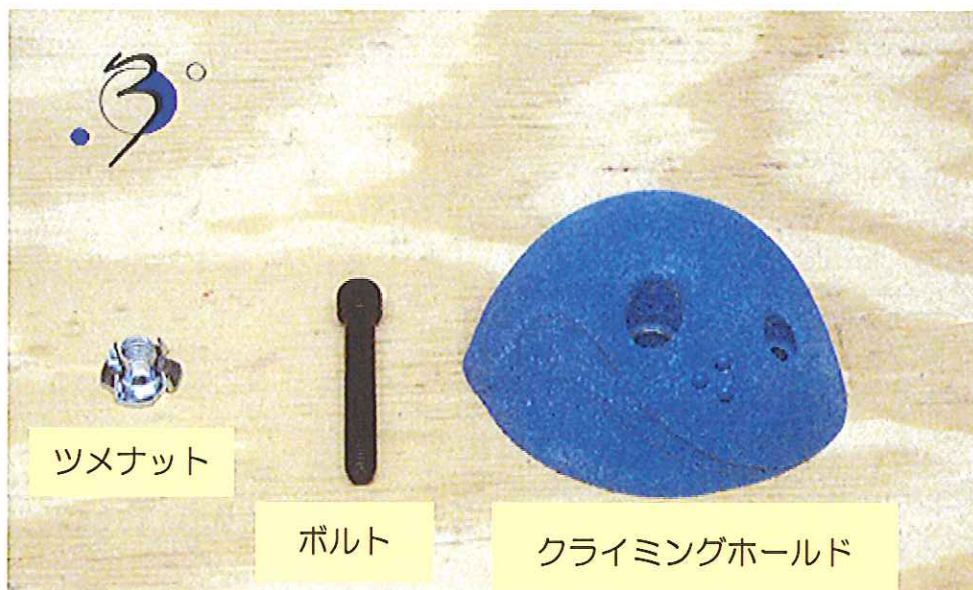
クライミングホールドの取扱いに関する注意

この度は、弊社販売のクライミングホールドをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

クライミングホールドの取扱いに関しましていくつか注意点がございます。

- 1、 ホールドは樹脂で出来ています。落としたり、電動ドリルなどでボルトを強く締めすぎたりすると割れることがありますのでご注意ください。特に小さなホールドや厚みのない平たいホールドは割れやすいため、強く締めすぎないように注意し、電動ドリルだけでなくレンチを利用するなどして取り付けてください。
- 2、 ご使用前にはホールドにひびが入るなど破損していないか必ずご確認ください。その際はホールドの表面だけでなくクライミングウォールに接地する底面にもひびがないかどうかもご確認ください。
- 3、 凹凸面のない平面のウォールに取り付けるようにしてください。凹凸がある場所や曲面に取り付けると割れやすくなります。またコンクリート壁など硬いウォールに取り付ける場合もホールドが割れる危険性が高まります。
- 4、 前述のようにクライミングホールドは割れる可能性のあるものです。ユーザー各自がそのことを認識し、正しい取り付け方をしてご使用ください。特に公共の場所(クライミングジムや公園など)に取り付ける場合は施設の管理者は定期的にホールドの破損及びクライミングウォール強度、取り付けボルトの緩みを点検し、割れたホールドや緩んだホールドの回転による落下、落下したホールドが人に当たるといった事故につながるないように十分注意してください。
- 5、 クライミングホールドには取り付け用のボルト穴が開いています。ボルト穴に指を入れないようにしてください。裂傷、骨折、断裂、場合によっては指を切断するといった大きなケガにつながる可能性がありますので十分注意してください。
- 6、 ホールドの中央にボルト穴が開いていないホールドは回転しやすいホールドです。弊社取扱いのホールドには回転による落下を防ぐための回転防止用のビス穴が開いているホールドがございますのでビス(木ネジ)で止めて回転防止にご活用ください。

クライミングホールドの取り付け方（木製パネル編）



M10ボルトに合うレンチでボルトを締めてクライミングホールドを木製パネルに取り付けます。
その際、ツメナットは左の写真のように予めクライミングウォールの裏に取り付けられていることが前提となります。



ボルトはホールド、木製パネルを通過してツメナットに到達する形になります。

基本的にツメナットは左の写真のように取り付けられる形になります。左の写真のツメナットとホールドの間木製パネルが入る形になります。

木製ウォールが薄いとツメナットがホールドに当たってしまいホールドの裏とウォールの表面の間に十分な摩擦が得られずホールドが回ってしまい危険です。

また、ホールドによっては回転防止用にビス穴が開いているものがありますので、その場合は必ずビス（木ネジ）で止めてください。

ホールドが正しく取
り付けられた状態



例は18mmの
木製ウォール